

平成27年度連続講義

「道徳教育の研究」について

①授業日程について

	(文系)	(理系)
日にち	9月1日(火)～ 9月3日(木)	8月26日(水)～ 8月28日(金)
時間	8:50～17:50	8:50～17:50
場所	教育学部(総合研究棟) 2F・206 教室	理学研究科 生物系研究棟別館2F 地学・生物共通講義室

※ 授業科目「道徳教育の研究」の“(文系)”と“(理系)”は、受講学生の所属学部・研究科を対象としているものではなく、開講するキャンパスを指しています。

したがって、どちらか都合の良い日程・キャンパスの講義を選んで受講してください。

※ シラバスは別紙参照。〔指定の教科書を準備してください。〕

※ 日程は、変更になる場合もありますので、掲示等に注意してください。

②履修登録方法について

履修登録は、各学部・研究科の前期履修登録期間中にWebで登録して下さい。(学部3年生以上が対象です。)

授業科目	単 位	担当教員	講義題目	開講学期
道徳教育の研究（文系）	2	池田全之	道徳教育論	第1学期 （連続講義）

〔授業目的と概要〕

本講義の目的は、現在中学校で行われている道徳教育のあらましを明らかにし、道徳の授業を支えている基本的事項、および道徳教育の可能性について考えてみることである。

〔学習の到達目標〕

道徳の授業を支えている基本的事項を理解して、道徳の授業の指導案を構想できることを目標とする。

〔授業内容・計画〕

講義の計画は以下のとおりである。

1. 基本型の道徳の指導案について
 - (1) 道徳の授業は学習指導要領においてどのように規定されているのか
 - (2) 基本型の指導案の構造
2. 反面教師としての「修身」の授業
 - (1) 明治初期の道徳教育について
 - (2) 教育勅語体制下の「修身」による道徳教育について
3. コールバーグによるディスカッションを取り入れた道徳の指導案について
 - (1) 児童・生徒の道徳性の発達について
 - (2) コールバーグ法の概要と、それに基づく指導案の構造
4. 現代の道徳教育を考える－思想史の観点から
 - (1) 人はどうして悪さをするのか
 - (2) 教室を支配する心象風景について
5. 構成的グループエンカウンターを取り入れた道徳の授業について

〔成績評価〕

レポート

〔教科書〕

なし。随時プリントを配布する。下記の〔参考書〕を購入しておくことが望ましい。

〔参考書〕

沼田裕之他編『道徳教育21の問い』，福村出版，2009年。

授業科目	単位	担当教員	講義題目	開講学期
道徳教育の研究 (理系)	2	八幡 恵	道徳教育の研究	第1学期 (連続講義)
【授業目的と概要】 受講生が、学校で道徳教育を行うための基礎的知識を提供することが授業のねらいである。授業では戦前期の道徳教育の特徴、学校の道徳教育の概要、道徳授業の現状と課題について解説する。 【学習の到達目標】 受講生が、学校の道徳教育の概要をつかみ、生徒の思考力を養う道徳授業を構想するための基礎的力を身につけることを目標とする。 下記の②－⑤ではそのための基礎的事項について、⑥では授業の具体例を取りあげて道徳授業の課題について解説する。 【授業内容・計画】 ①導入 ②学校と子どもの現在 ③道徳教育の歴史：教育勅語と道徳教育 ④道徳教育の目標と内容：学習指導要領の解説 ⑤道徳授業の方法：授業としての道徳教育 ⑥道徳の授業研究：基本型、有田和正の授業、モラルジレンマ授業、参加型 【評価方法】 レポートによる。出席不良者はレポートを受理しない。 【教科書】 『道徳教育 21 の問い』沼田裕之・増渕幸男・伊勢孝之編（福村出版）2009 【参考書】 授業で紹介する。 【その他】				